

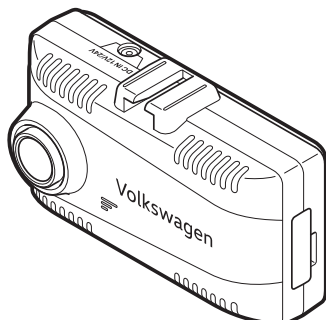


Drive Recorder DR-C1-VW

品番：J0V DD9 E02

取扱説明書 本体編

この度は、本製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。本機は日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。



Copyright © Volkswagen 2021
Copyright © 2021 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.
Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。
microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。
microSD Logolは登録商標です。
その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

CellSTAR®

お客様相談窓口

■ 製品の操作方法などのお問い合わせ

<セルスター工業株式会社> カスタマーサービス

[受付時間] 9:00~18:00 (土・日・祝日、および休業日を除く)



0570-006867 (ナビダイヤル)

0120-75-6867 (フリーダイヤル)

携帯電話・PHS・フリーダイヤルがご利用になれない場合：0570-006867

■ メールでのお問い合わせ

下記URLのよくあるご質問FAQより質問を送信してください。

<https://faq.cellstar.co.jp/>



■ 不具合（故障）などのお問い合わせ

☎ お買上の販売店様にご相談ください。




販売元 フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員] [一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]




製造元 セルスター工業株式会社

1 安全に正しくご使用いただくために






お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。










■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。














危険

-  本機は必ず定められた電圧 (DC12V/24V) でご使用ください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
-  運転中に本機を操作しないでください。
* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
-  本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。
* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
-  医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
-  水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で絶対に操作しないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。

警告

-  本機の取り付けは、必ずパワー (イグニッション) スイッチを切った状態でおこなってください。
* 車両のキーがONの状態では取り付けると、感電および故障の原因となります。
-  本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
-  本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
* 火災などの原因となります。
-  本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
-  コードをはずすときは、必ずプラグ部分を持ってはずしてください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。
* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
-  本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。
* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。
-  本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。
-  本機は、ガラス面に正しく取り付けてください。
* ガラス面をきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付いていない場合、本機がガラス面からはずれ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
-  電源ケーブルまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
* 接続不良による感電および火災の原因となります。

注意

-  本機に強い衝撃を与えないでください。
* 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
-  本機の近くに磁性性があるものを置かないでください。
* 製品の誤動作および故障の原因となります。
-  本機の近くには障害になるようなものを設置しないでください。
* 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
-  本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
* 故障の原因となり保証を受けることができません。
-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
* 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。
-  GPS機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
* 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
-  フロントガラスにメタルコーティングされた車両はGPS受信障害が発生することがあります。
-  トンネル入出時のように急激に明るさかわる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
-  暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドランプやフォグランプをつけてください。
-  フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
* ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
-  本機は、推奨取付位置に設置してください。
* 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
* 車両に応じて、よい録画ができる位置 (推奨取付位置) に装着してください。
-  LED方式の信号機では画面がちらつく (フリッカー) ことがあります。

2 免責について

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、一切の責任を負いかねます。
- パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- ハイブリッド車両は車両の充電制御の関係上、オプションの駐車監視モードケーブルの電圧監視設定を11.5Vに設定しないでください。(12V設定推奨)
- 車両バッテリーあがりに関して、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- LED方式の信号機では記録映像がちらつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取り扱いには十分注意して、注意事項をよくお読みになり使用してください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して一切の責任を負いかねます。
- 市販のmicroSDカードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、一切の責任を負いかねます。

3 microSDカードの取り扱い注意事項

microSDカードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。指定以外のmicroSDカードを使用すると、データの損失や記録できない可能性があります。
- 市販のmicroSDカードを挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。強制フォーマットをおこなってください。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。
- 一般的にmicroSDカードには、寿命があります。(各メーカーにより異なります)
 - microSDカードを長期間使用しているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
- microSDカードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
 - ケースに入れず保管または持ち歩く、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
- microSDカードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
 - 正しく動作しない場合があります。
- microSDカードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
 - microSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
 - microSDカードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
- microSDカードを電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにして、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。
- microSDカードスロットに異物を入れないでください。
 - カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
- 油がついた手や濡れた手でmicroSDカードスロットを触らないでください。
 - microSDカードを損傷し、または故障などの原因となります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
- 付属のmicroSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対にmicroSDカードを取り出さないでください。
 - microSDカードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- microSDカードに本機の設定情報を保存しているため、別のmicroSDカードと入れ替えると、本機の設定は初期値にもどります。
- microSDカードを別に購入する場合は、オプションのドライブレコーダー専用microSDカードをご購入ください。GDO-SD16G1 (J0V DD9 E01 A2)、GDO-SD32G1 (J0V DD9 E01 A3)、GDO-SD64G1 (J0V DD9 E01 A4)

3-1 microSDメンテナンスフリー機能について

- フォーマットをおこなうと、設定した録画画質にあわせてセルスター独自のファイルシステムが適応されます。このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができます。これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- 「画像モード設定」を変更したり、microSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
 - 付属のmicroSDカードは工場出荷時にこのファイルシステムが適応されています。
 - 新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。(参照⇒ **6** フォーマットする)
 - パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

4 使用上の注意

4-1 録画について

- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプ、ディスプレイを注視しないでください。クイック録画や静止画撮影をおこなう場合、車を停止し、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- 電源を入れたあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

4-2 ディスプレイについて

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイの性質により、輝点や減点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

4-3 アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本機の電源が落ちる場合があります。

4-4 カメラレンズの注意事項

- 本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は、大変熱くなつてますので直接手で触れないようご注意ください。

4-5 ご使用中に事故が発生した場合

- 車両のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、本機から電源ケーブルをはずして確実に電源がオフになっていることを確認してからmicroSDカードを取り出してください。microSDカードは付属のSDカードケースに保管してください。(参照⇒ 7-5 microSDカードの挿入および取り出し)
- microSDカードはWindowsパソコンにインストールした専用ビューアで再生してください。スマートフォンなどでmicroSDカードを読み込むと不要なファイルが書き込まれ、データが消えてしまうおそれがあります。

5 付属品とオプション品

5-1 付属品

本機を使用する前に、必ず付属品（同梱物）を確認してください。

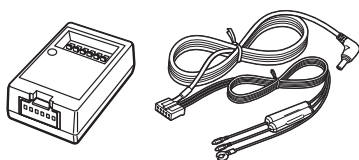
* 付属品には注意書きが同梱している場合があります。あわせて確認してください。

 □本体	 □電源ケーブル コード長：5m	 □本体用マウントベース * あらかじめ両面テープ（ガラス用）が貼られています。	 □六角レンチ
 16GB □microSDカード * SDカード変換アダプタ、SDカードケース付属 * ドライブレコーダー本体に挿入されています。	 □結束バンド×10	 □スポンジテープ	 □コードクリップ×5
 □取扱説明書（本書）			

5-2 オプション品

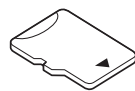
別途お買い求めください。

駐車監視モードケーブル



GDO-41V (J0V DD9 E01 A1)
コード長：DC OUT5.0m/DC IN2.5m

SDカード

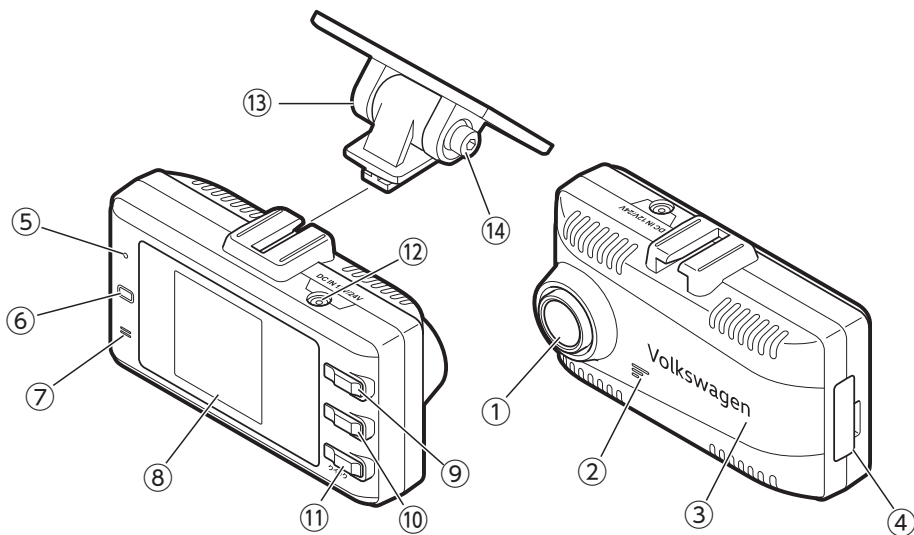


SDカード16GB
GDO-SD16G1 (J0V DD9 E01 A2)

SDカード32GB
GDO-SD32G1 (J0V DD9 E01 A3)

SDカード64GB
GDO-SD64G1 (J0V DD9 E01 A4)

6 各部の名前とはたらき



① 撮影用カメラレンズ	出荷時に保護フィルムが貼られています。剥がして使用してください。
② スピーカー	音声出力します。（モノラル）
③ GPS	GPS、プロナス衛星、ガリレオ衛星、準天頂衛星みちびき、SBASの衛星を受信します。
④ microSDカードスロット	付属またはオプションのmicroSDカードを挿入します。 * microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
⑤ リセットボタン	本機を再起動します。（参照⇒ 16-1 システムリセット）
⑥ 動作LED	本機の動作状態を表示します。
⑦ マイク	録画中の音声を録音します。
⑧ ディスプレイ	カメラの録画映像、再生、設定メニューの画面などを表示します。
⑨ [▲] ボタン	録画状態中、短押し（約1秒）すると再生モードになり（参照⇒ ⑩再生する（再生モード））、長押しで音量がアップします。また、メニュー操作時、短押し（約1秒）するとカーソルが上に移動、長押しすると一つ上のメニューにもどります。
⑩ [ENT] ボタン	録画状態中、短押し（約1秒）するとメインメニューを表示します。また、メニュー操作時、短押し（約1秒）すると設定内容の決定、長押しで録画状態にもどります。
⑪ [▼] ボタン	録画状態中、短押し（約1秒）するとクイック録画モードになり（参照⇒ 9-3 クイック録画モード）、長押しで音量がダウンします。また、メニュー操作時、短押し（約1秒）するとカーソルが下に、長押しすると一つ上のメニューにもどります。
⑫ DC12V/24Vソケット	付属の電源ケーブルを接続し、DC12V/24V を本機に入力します。
⑬ マウントベース	あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。
⑭ 固定ネジ	本機の取り付け角度を調整します。

7 取り付けと準備

警告

事故発生時の衝撃により本機がはずれる場合がございます。ガラス面のマウントベース貼り付け部分の油分や汚れを市販の脱脂クリーナーなどでしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

注意

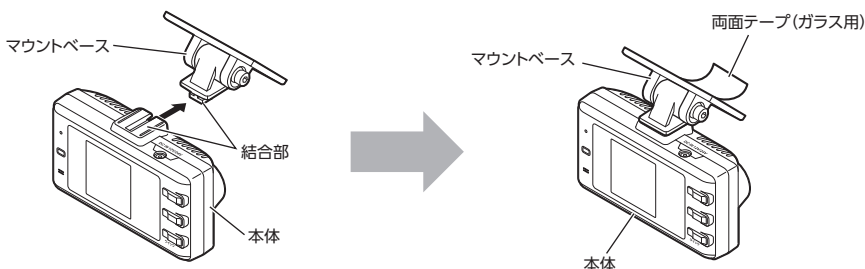
本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

- ・別紙の車種専用取付説明書を確認して正しく取り付けてください。
- ・本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- ・本機を取り付ける前には、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- ・本機に専用の電源ケーブル以外のコードを使用しないでください。
- ・本機を設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- ・夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- ・本機は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- ・本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。

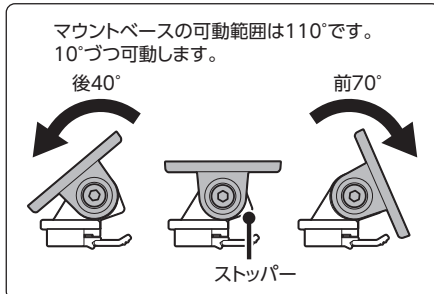
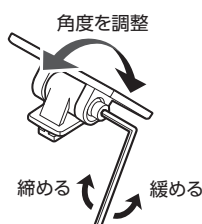
7-1 取り付け

1 本体にマウントベースを取り付け、両面テープを使ってフロントガラスに取り付けます。

*市販の脱脂クリーナーなどでガラス面のマウントベース貼り付け部分の油分や汚れをしっかりと拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

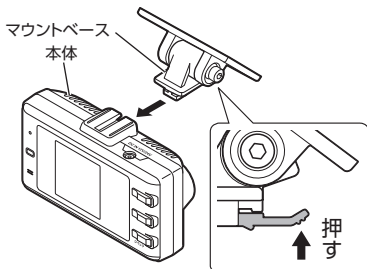


2 固定ネジを付属の六角レンチで緩め、マウントベースの角度を調整します。角度が決まったら、固定ネジを締めます。



7-2 マウントベースから本体を取りはずす

マウントベースのツメ部を押し、本体を引きはずします。

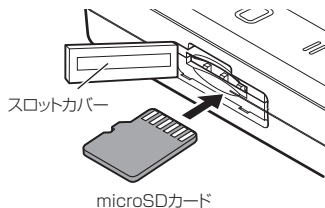


7-3 microSDカードの挿入および取り出し

- ・必ず本機から電源ケーブルをはずし、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。
- ・microSDカードを挿入/取り出したあと、衝撃でmicroSDカードが排出しないよう、必ずスロットカバーを閉じてください。
- ・microSDカードをご使用になる前に必ず、「microSDカードの取り扱い注意事項」をお読みください。

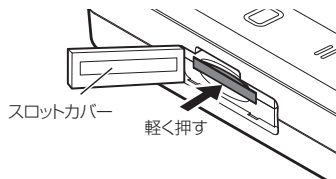
microSDカードを挿入する

スロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してカチッと音がするまでスロットに差し込みます。



microSDカードを取り出す

スロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込むと取り出せます。



8 起動する

* 本機を使用する前に必ず「❶ 安全に正しくご使用いただくために」「❷ 使用上の注意」を読み、正しくご使用ください。

8-1 電源を入れる

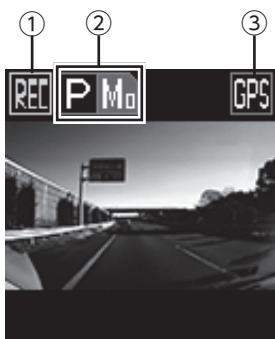
本機には電源ボタンがありません。電源ケーブルが車両に接続された状態で車のパワー（イグニッション）スイッチをオンにすると、電源が入ります。

電源が入ると、動作LEDが点灯し、効果音が鳴りディスプレイにオープニング画面が流れたあと、録画状態になります。

* 録画状態中の画面表示は、時計表示にしたり、表示をオフに変更できます。詳しくは「12-1 設定メニューの一覧」の「画面表示」をお読みください。

8-2 ディスプレイ表示を確認する

録画状態中、次の画面が表示されます。



① 録画モード

録画モードの状態を表示します。(参照⇒❶ 録画する)

(緑)：常時録画

(赤)：イベント録画

(橙)：クイック録画

② パーキングモード

パーキングモードの録画状態を表示します。(参照⇒13-3 パーキングモード中の動作)

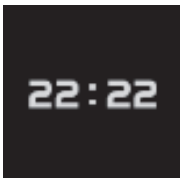
③ GPS

GPSを測位すると表示します。(参照⇒❶ GPS測位について)

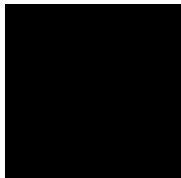
* アイコン表示はオン/オフを設定できます。(参照⇒12-1 設定メニューの一覧の「アイコン表示」)

ディスプレイ表示は、設定メニューの「画面表示」で「時計」または「オフ」に設定できます。

(参照⇒12-1 設定メニューの一覧の「画面表示」)



時計



オフまたはオールオフ

8-3 エラーメッセージについて

SDカード認証エラー
SDカード未挿入、
未フォーマット、
破損等の異常です。

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合に表示されます。

→ microSDカードを挿入し直したり、フォーマット (参照⇒❶ フォーマットする) をおこなってください。

SDカードのファイルシステム
又はアロケーションサイズが
違います。フォーマットしますか？
(フォーマットすると
データは全て消去されます。)

■ microSDカードファイルシステムエラー

microSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違っている場合に表示されます。

→ [ENT] ボタンを押してmicroSDカードのフォーマットをおこなってください。

SDカードエラー
SDカードに
異常があります。
SDを交換して
ください。

■ microSDカード異常エラー

microSDカードの異常が見つかった場合に表示されます。

→ microSDカードの交換をおこなってください。

カメラに異常が
あります。
カスタマーサービス
迄ご連絡ください。

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合に表示されます。

→ システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。
(参照⇒❶ システムリセットと強制初期化)

9 録画する

本機の録画モードは3つあります。録画モードの状態はアイコンで確認できます (参照⇒8-2 ディスプレイ表示を確認する)

9-1 常時録画モード

走行中の映像を常に録画します。動作LEDが点滅し、1分単位で録画して「INFINITE」フォルダに保存し続けます。



9-2 イベント録画モード

走行中にイベント（事故などで衝撃を検知）が発生した場合、常時録画を中断してイベント録画を開始します。イベント録画モードでは、動作LEDが速い点滅になり、1ファイルに25秒（前5秒、後ろ20秒）の映像を生成、「EVENT」フォルダに保存します。その後、常時録画モードにもどります。



イベント録画ファイル	1分	0~1分	1分
常時録画ファイル	1分	0~1分	1分

* 常時録画はイベント発生まで録画します。

* センサーの感度設定によって、検知する衝撃の強弱を設定できます。(参照⇒12-1 設定メニューの一覧の「3Gセンサー」)

* 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。

* 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。

* 事故等発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。

9-3 クイック録画モード

手動でイベント録画します。映像は「EVENT」フォルダに保存されます。

* イベント録画中は使用できません。

1 録画状態中、[▼] ボタンを短押し（約1秒）します。

→ 動作LEDが速い点滅になり、イベント録画が始まります。1ファイルに25秒（前5秒、後ろ20秒）の映像を生成、「EVENT」フォルダに保存します。その後、常時録画モードにもどります。

9-4 録画データ保存先

保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード： INFINITE	通常時：NNF_****.avi パーキングモード：PNF_****.avi パーキングモード（モーション）：PMF_****.avi	microSDカード総容量の73% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
イベント録画モード： EVENT	通常時：NEF_****.avi パーキングモード：PEF_****.avi	microSDカード総容量の20% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)

* ファイル名の**** には、年月日-時分秒が入ります。 例：201130-101010は、2020年11月30日10時10分10秒です。

10 静止画を撮影する（撮影モード）

撮影モードは静止画を手動撮影するためのモードです。

画像（JPEGファイル）は「CAPTURE」フォルダに保存されます。

* microSDカード総容量の2%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。

* 画像は本機で表示することはできません。パソコンなどを使用してください。

1 録画状態中、[ENT] ボタンを押してメインメニューを表示します。

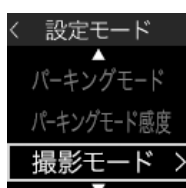
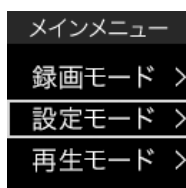
2 [▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して「設定モード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。

3 [▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して「撮影モード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。

4 撮像モードになります。

[ENT] ボタンを短押し：撮影します。

* [ENT] ボタンを長押しすると、録画状態にもどります。



11 再生する（再生モード）

録画した映像を再生します。

* 再生モード中は、録画できません。

1 録画状態中、[ENT] ボタンを押してメインメニューを表示します。

* 録画状態中、[▲] を短押しすると「再生モード」画面が表示されショートカットできます。

2 [▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して「再生モード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。

3 [▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して「常時」または「イベント」を選択し、[ENT] ボタンを押します。

4 [▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して再生したいファイルを選択し、[ENT] ボタンを押します。ファイルは記録された時間の順に表示されます

* 再生ファイル名は「9-4 録画データの保存先」のファイル名を参照してください。

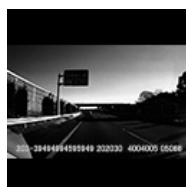
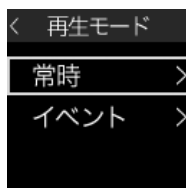
* 再生ファイルは常時録画モードで1分です。

5 再生が開始されます。

[▲] ボタン 長押し：一つ上のメニューにもどります。

[ENT] ボタン 短押し：再生を停止して、手順4にもどります。
長押し：録画状態にもどります。

[▼] ボタン 長押し：一つ上のメニューにもどります。



12 設定メニューについて

画像モードを変更すると、microSDメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

設定メニューから本機の各種設定を変更できます。

* 設定中は、録画できません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切りかわります。

1 録画状態中、[ENT] ボタンを押してメインメニューを表示します。

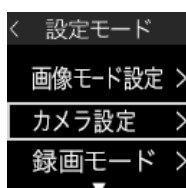
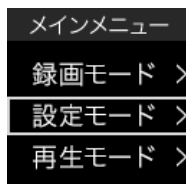
2 [▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して「設定モード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。

3 設定メニューが表示されます。

[▲] ボタン 短押し：カーソルを上移動します。
長押し：一つ上のメニューにもどります。

[ENT] ボタン 短押し：メニューを決定します。
長押し：録画状態にもどります。

[▼] ボタン 短押し：カーソルを下移動します。
長押し：一つ上のメニューにもどります。



12-1 設定メニューの一覧

メニュー名	設定項目 (太文字: 初期値)	説明
画像モード設定	高画質 ／標準／長時間／カスタム	録画画質を設定します。 [カスタム]では画質や明るさなどをお好みで設定できます。 (参照⇒ 12-2 画像モード設定の「カスタム」設定) * 画像モード設定を変更するとmicroSDメンテナンスフリー機能により、microSDカードのフォーマットが発生します。
カメラ設定	ノーマル／ HDR ／夜間補正／HDR 夜間補正	ノーマル :HDR、夜間補正をおこないません。 HDR :HDRによる画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。夜間補正はおこないません。 夜間補正 :夜間、トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDRによる画像補正はおこないません。 HDR 夜間 :HDRによる画像補正と夜間補正をおこないます。
録画モード	常時／ 常時+イベント	(参照⇒ 9 録画する)
3Gセンサー感度	1／2／3／4／5／ 6 ／7／8／9／10／カスタム * 数値が大きくなると感度があがります。	イベント録画で検知する衝撃の感度を10段階で設定します。 [カスタム]では感度をお好みで設定できます。 (参照⇒ 12-3 3Gセンサー感度の「カスタム」設定)
音声録音	オン ／オフ	音声を録音するかどうかを設定します。
インポーズ記録	オン ／オフ	録画映像とあわせて、日付、現在の緯度経度、走行速度を記録するかどうかを設定します。
位置情報取得	オン ／オフ	GPSからの位置情報を取得するかどうかを設定します。
画面表示	オン ／オフ／オールオフ／時計	オン :カメラ映像を表示 オフ :画面表示をオフ、LED、ボイスをオン オールオフ :画面表示、LED、ボイスをオフ 時計 :時計を表示
画面明るさ	1／2／ 3 ／4 * 数値が大きくなると画面が明るくなります。	ディスプレイの輝度を4段階で設定します。
ディマー	オン ／オフ	オン :ディマー機能を使用します。 オフ :ディマー機能を使用しません。 * 4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は17:00～6:00にディスプレイの輝度を自動で下げます。
ボイス	オン ／オフ	音声案内をおこなうかどうかを設定します。
カメラズーム	オフ ／2倍／4倍	オフ :等倍で録画 2倍 :2倍拡大で録画 4倍 :4倍拡大で録画
アイコン表示	オン ／オフ	画面にアイコンを表示するかどうかを設定します。 (参照⇒ 8-2 ディスプレイ表示を確認する)
パーキングモード	オン 常時 オン 常時+イベント オン モーション オン モーション+イベント オフ	(参照⇒ 16 パーキングモードについて) * オプションの駐車監視モードケーブル接続時に設定可能です。
パーキングモード感度	1／2／3／4／5／ 6 ／7／8／9／10 * 数値が大きくなると感度があがります。	パーキングモード中にイベント録画で検知する感度を10段階で設定します。*オプションの駐車監視モードケーブル接続時に設定可能です。
撮影モード	－	(参照⇒ 10 静止画を撮影する(撮影モード))
フォーマット	－	(参照⇒ 15 フォーマットする)

12-2 「画像モード設定」の「カスタム」設定

メニュー名	設定項目 (太文字: 初期値)	説明
画像	FHD／HD／ D1	解像度を設定します。
画質	高／標準／ 低	画質を設定します。
明るさ	明／ 中 ／暗	明るさを設定します。
コントラスト	高／ 中 ／低	コントラストを設定します。

12-3 「3Gセンサー感度」の「カスタム」設定

メニュー名	設定項目 (太文字: 初期値)	説明
前後	オフ／1／2／3／4／5／ 6 ／7／8／9／10 * 数値が大きくなると感度があがります。	センサーの感度を前後、左右、上下、それぞれで10段階で設定します。
左右		
上下		

13) パーキングモードについて

パーキングモードに設定すると、オプションの駐車監視モードケーブルのタイマー機能、電圧監視機能により最大12時間本機に電源を供給することで、駐車場に停車してパワー（イグニッション）スイッチがオフになっても、本機が録画をおこないます。パワー（イグニッション）スイッチをオフにしACCがオフになってから約6秒後に作動します（動作LEDが遅く点滅します）パワー（イグニッション）スイッチをオンにしACCがONになると、約6秒後にパーキングモードが解除され、録画状態にもどります。

警告

- ハイブリッド車両は車両の充電制御の関係上、オプションの駐車監視モードケーブルの電圧監視設定を11.5Vに設定しないでください。（12V設定推奨）*オプションの駐車監視モードケーブル付属の取扱説明書を参照
- 駐車監視モード（パーキングモード）は、必ず本機に適合したオプションの駐車監視モードケーブルを使用してください。付属の電源ケーブルなどを接続し、直接電源を供給できる状態ではパーキングモードを設定できません。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- パーキングモードを「オフ」にしても本機に電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、オプションの駐車監視モードケーブルの時間設定を「0時間」にしてください。
- パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- 車両バッテリーあがりに関して、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- パーキングモードは周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- 車両がスリープモード時、電圧降下しない電源に配線してください。

録画方式は以下から選択できます。

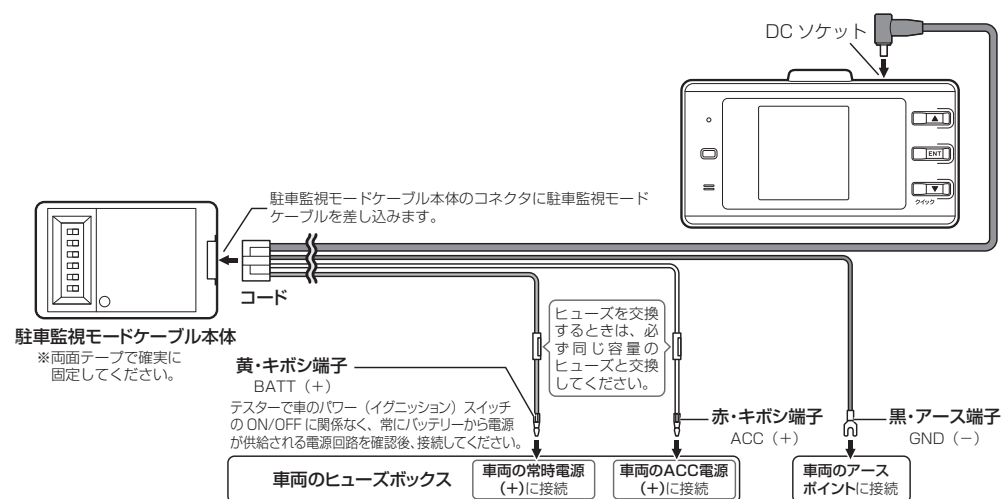
オン 常時	常時録画を記録しつづけます。（古いファイルは消去されます。） * 常時録画は [INFINITE] フォルダに保存されます。
オン 常時+イベント	常時録画とイベント録画をおこないます。イベントが発生した場合、1ファイルに25秒（前5秒、後ろ20秒）のイベント録画を記録します。 * 常時録画は [INFINITE] フォルダ、イベント録画は [EVENT] フォルダに保存されます。
オン モーション	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を1ファイル記録します。 * モーション録画は常時録画として [INFINITE] フォルダに保存されます。
オン モーション+イベント	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を1ファイル記録し、イベントが発生した場合、1ファイルに25秒（前5秒、後ろ20秒）のイベント録画を記録します。 * モーション録画は常時録画として [INFINITE] フォルダ、イベント録画は [EVENT] フォルダに保存されます。

- * パーキングモードの常時録画、モーション録画で1ファイルに記録される録画時間は「画像モード設定」により変動します。
- * イベント録画の感度は「パーキングモード感度」で調整してください。
- * パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、オプションの駐車監視モードケーブルのディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの駐車監視モードケーブルに付属の取扱説明書をお読みください。

録画仕様について

- 画像 : D1
- 画質 : 低
- 明るさ : 中
- コントラスト : 中
- GPS : オフ

13-1 駐車監視モードケーブルを取り付ける



- * 別紙の車種専用取付説明書を確認して正しく取り付けてください。
- * 本機がオプションの駐車監視モードケーブルを認識できない場合やパーキングモード中、電源ケーブルを抜いた場合、パワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、本体の動作LED消灯を確認後、パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。

13-2 パーキングモードの設定

- 録画状態中、[ENT] ボタンを押してメインメニューを表示します。
- [▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して「設定モード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。
- [▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して「パーキングモード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。
- 設定したい「録画方式」または「オフ」を選択し [ENT] ボタンを押します。（参照⇒ ⑩ パーキングモードについて）



13-3 パーキングモード中の動作

パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがオフになってから6秒後にパーキングモードが作動します。画面が消え、動作LEDが遅く点滅します。

- * パーキングモード中、[▼] ボタンを短く（約1秒）押すと、動作LEDが遅く点滅し、クイック録画をおこないます。
- * パーキングモード中にイベント録画やモーション録画をおこなった場合、パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンを表示します。次回起動時、アイコンは消えます。

イベント録画が発生した場合	PEv	[EVENT] フォルダに保存されます。
モーション録画が発生した場合	PMo	[INFINITE] フォルダに保存されます。
イベント録画とモーション録画が発生した場合	PEvMo	イベント録画は [EVENT] フォルダ、モーション録画は [INFINITE] フォルダに保存されます。

14 GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するためにはGPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPSを測位すると測位アナウンスをおこない、GPSアイコンを表示します。(参照⇒ 8-2 ディスプレイ表示を確認する)

お買い求めいただいて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります(15分程度)これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

■ 超速GPSについて

自転車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 自転車位置は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自転車位置の測位をおこなうことができません。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源を切ってから直線距離で300km以上離れた地点で電源を入れた場合、最後に電源を切って次に電源を入れたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- 録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いためGPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

15 フォーマットする

microSDカードを初期化し、設定した録画画質にあわせたセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

- microSDカード内の記録ファイルがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

- 1 録画状態で、[ENT] ボタンを押してメインメニューを表示し、「設定モード」にします。(参照⇒ ⑩ 設定メニューについて)
- 2 設定モードの画面で [▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して「フォーマット」を選択し、[ENT] ボタンを押します。
- 3 「フォーマット」画面のメッセージを確認し [ENT] ボタンを押します。
* [ENT] ボタンを長押しすると、フォーマットがキャンセルされ、録画状態にもどります。
- 4 フォーマット再確認のメッセージを確認し、[ENT] ボタンを押します。
- 5 フォーマットが完了すると、本機は自動的に再起動します。

SDカードを
フォーマットします。
録画データは
全て消去されます。

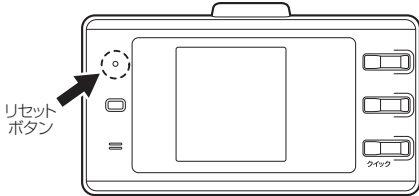
本当に
よろしいですか？

16 システムリセットと強制初期化

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。

16-1 システムリセット

ピンなどを使ってリセットボタンを押すと、システムリセットできます。

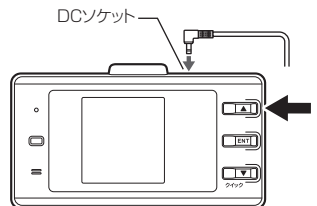


16-2 強制初期化

強制初期化をおこなうと、設定内容が工場出荷時(初期値)にもどります。

- microSDカード内の記録ファイルがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

- 1 電源ケーブルのプラグを抜き、電源を切ります。
- 2 [▲] ボタンを押しながら電源ケーブルを接続し電源を入れます。
- 3 強制初期化が実行されます。



17) ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューアソフトの説明書は、下記URLよりダウンロードします。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

■ 専用ビューアソフトの動作環境

- CPU : Pentium 4 以上
- OS : Windows 8 / 10 以上
- メモリ : 1GB 以上
- HDD : 4GB 以上
- GPU : Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

- viewer.zipをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍します。
- viewerフォルダを開きます。
- フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールします。
- setup.exeを起動するとインストールが開始します。

専用ビューアソフトの使い方は「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

18) 故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

また下記URLより「よくあるご質問 (FAQ)」を参照ください。

<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">• 本機のDCソケットに電源ケーブルは接続されていますか。• 電源ケーブルのヒューズが切れていませんか。• 本機は専用の電源ケーブルを使用してください。• microSDカードは正しく挿入されていますか。• * microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
起動時間が長い	<ul style="list-style-type: none">• microSDカードの容量によっては起動時間が長くなる場合があります。
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none">• microSDカードは正しく挿入されていますか。• * microSDカードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSDカードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSDカードをご使用ください。• microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。• * microSDカードをフォーマットしてください。
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none">• 「3Gセンサー感度」を調整してください。• * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。
ひんぱんにイベント録画される、または録画されない	<ul style="list-style-type: none">• 「3Gセンサー感度」を調整してください。• * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。
画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none">• 「画面表示」がオフになっていませんか。
再起動する	<ul style="list-style-type: none">• 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません
録画したデータと実際の走行状況が違う	<ul style="list-style-type: none">• 日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります
パーキングモードを設定できない	<ul style="list-style-type: none">• 本機がオプションの駐車監視モードケーブルを認識していません。パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください
設定中にフォーマット動作になった	<ul style="list-style-type: none">• 画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSDカードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが消去されます。バックアップされていない場合、電源ケーブルを抜いて電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。

19 仕様

車外撮影用カメラ	撮像素子	200万画素 カラーCMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平116.3°、垂直59.6°、対角145.1°
	F値	2
	最低被写体照度	3LUX
録画画素数	200万画素 (FullHD) / 100万画素 (HD) / 35万画素 (D1)	
録画画質	FullHD	高画質 (12Mbps) / 標準 (10Mbps) / 低画質 (8Mbps)
	HD	高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
	D1	高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平107°、垂直56°、対角130°
	HD	水平107°、垂直56°、対角130°
	D1	水平 90°、垂直56°、対角115°
録画圧縮	録画AVI (H.264)、静止画JPEG	
録画トリガ	常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画 (常時録画 / モーション録画 / 常時録画+イベント録画 / モーション録画+イベント録画 *パーキングモード時)	
GPS	有り	
HDR	有り	
3Gセンサー	有り(衝撃感度10段階)	
対応外部記憶媒体	GDO-SD16G1 (J0V DD9 E01 A2) GDO-SD32G1 (J0V DD9 E01 A3) GDO-SD64G1 (J0V DD9 E01 A4)	
記録データ	日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル	
音声録音	有り (オン、オフ設定可)	
外部映像出力	無し	
インターネット地図連動	有り	
電源電圧	DC12V/24V	
動作温度範囲	-10℃～ + 60℃	
サイズ (*突起部含まず)	82 (W) × 24.5 (D) × 43.5 (H) mm * マウントベース取り付け時 72 (H) mm	
本体重量	75g	
保証期間	3年	

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

■ 撮影可能時間の目安

microSD カードの容量		録画品質		
		高品質 常時録画/イベント録画	標準 常時録画/イベント録画	低品質 常時録画/イベント録画
8GB	FullHD	約50分/約13分	約62分/約17分	約74分/約20分
	HD	約86分/約23分	約123分/約33分	約187分/約49分
	D1	約234分/約63分	約311分/約80分	約467分/約91分
16GB	FullHD	約101分/約27分	約124分/約33分	約148分/約40分
	HD	約171分/約45分	約247分/約67分	約371分/約98分
	D1	約464分/約127分	約618分/約159分	約928分/約181分
32GB	FullHD	約202分/約54分	約249分/約67分	約297分/約79分
	HD	約342分/約91分	約495分/約134分	約742分/約192分
	D1	約928分/約254分	約1238分/約318分	約1857分/約363分
64GB	FullHD	約400分/約107分	約489分/約132分	約587分/約157分
	HD	約677分/約179分	約978分/約264分	約1467分/約387分
	D1	約1834分/約503分	約2446分/約628分	約3669分/約718分

microSD カードの容量	最大録画時間 (パーキングモード)
8GB	約451 ~ 468分
16GB	約905 ~ 930分
32GB	約1815 ~ 1867分
64GB	約3586 ~ 3669分

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

* パーキングモードは、パワー (イグニッション) スイッチOFF (ACC) で最大12時間録画します。